

神ギ協

神奈川ギター協会

〒251-0045

藤沢市辻堂東海岸 3-9 FW310

川俣ギター教室内

Tel & Fax. 0466-36-7421

2015/7/21 発行

(編集責任者) 岩木俊宏

第45回神奈川新人ギタリストオーディション

2016年6月26日(日)神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」 神奈川ギター協会主催

写真とレポート:川俣 明



入賞者と入選者

2016年6月26日(日)神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」で第45回神奈川新人ギタリストオーディションが開催された。今回は昨年度の次点入選者(予選免除)1名を含む34名の応募者総数であった。例年よりも、やや少なめの応募者数であり、今までの傾向では応募者の多い方が全体の演奏レベルは高いという記憶もあったので、心配された面もあったが、本選のレベルが、かなりの高水準を保ったものだったのは、主催者としても喜ばしいことであった。また、今回はゲスト審査員として佐藤弘和氏に加わって頂いて、審査員室は新しい雰囲気を感じられた。

予選の課題曲はF.ソル作曲の練習曲作品31-10、自由曲は例年と同じく、各自が登録した3分以内の曲を演奏した。審査の結果5名が予選を通過し本選は6名の演奏となった。本選前の西本悦子副委員長の講評にもあったが、古典の曲の様式の把握に問題がある者が多く、しかもこの傾向は毎年進行しているような気がしてならない。付点音符の扱い方やアーティキュレーションの処理の仕方など、適切な型に収めて欲しいとまでは言わないが、古典曲の演奏の共通認識を理解しておくのはクラシック音楽を演奏する者にとっては必須のことと思われる。指を動かす練習ばかりでなく、是非そういう勉強も怠らず、努力をしてもらいたいものだ。また、最近は小さなミスタッチ

についても、特に課題曲においては大変厳しい判断が下されるので、演奏の音楽の内容が良くても、緊張の余りの思わぬミスで予選通過を逃した者は、次回は更に十分な対策を講じて参加して欲しいものだ。

本選では課題曲は F.タレガ作曲のマリーア、それと各自が登録した 6 分以上 10 分以内の自由曲を演奏した。本選に残った各奏者は、前述のように、さすがにレベルも高く、聴きごたえのある本選会となった。本選の採点は80点を合格の目安とし、上下 10 点ずつの幅を持たせて採点し、平均点を出し、判定する方法を採った。結果、平均点で合格点を得た 4 名が、他の 2 人の得点に少し大きく差つけての入賞合格となった。

以下に本選の演奏順に結果と評を記す。

1. 中里一雄(なかざと かずお) <入賞・合格>

予選自由曲:前回次点により予選免除

本選自由曲:カスティーリャの歌(R.S.デ・ラ・マーサ)

課題曲のマリーアは、やや速めのテンポながらタレガのロマンティックなところを良く表現していた。ギターの色も爽やかさが感じられていて良かった。しかし、本選の一番手で緊張が上手くコントロールされなかったのか、冒頭と中間部で小さなミスがあったのは減点に繋がりが残念なことであった。自由曲は落ち着きを取り戻し、手堅く演奏されていた。全体的に音色も美しく、力強さも持っている。スペイン音楽は得意な分野であるのか光になる部分と影の部分を見事に表現し作品の本質によく迫っていた演奏と言えるであろう。惜しむらくはハイポジションの低音弦の音程にはもう少し注意を払いたい。しかしながら中間部の高音弦の高音部のメロディーラインなどは、とても美しく表現されていた。

2. 佐々木宣博(ささき のぶひろ) <入賞・合格>

予選自由曲:華麗な舞曲(A.タンスマン)

本選自由曲:ハンガリー幻想曲(J.K.メルツ)

課題曲のマリーアは速めのテンポで流麗に演奏されていた。この曲はテンポの変化も巧みに表現せねばならないが、よく工夫されていて、重い表現にならずに軽快にまとめたところに好感がもてた。しかし細かいミスタッチが無いわけではないので、今後はより注意を払いたいところである。自由曲では 8 絃ギターの特徴を生かしながら、速い細かな音符の部分も巧く演奏されていた。チャルダッシュの感じもなかなか良い。8 弦のせいかギターの響きがやや重いだろうか?胸のすくような華やかな音色や表現も、あと一步研究してもらいたいものだ。後半部では速い動きにややもたつく箇所も出て最高潮にまでに盛り上げるには至らなかったが、演奏者としての素質を十分に示した佳演であったと言えるであろう。

3. 斉藤奈々子(さいとう ななこ) <次点・入選>

予選自由曲:エル・マラビーノ(A.ラウロ)

本選自由曲:「BWV1012」よりガヴョット I & II、ジーク(J.S.バッハ)

力強いタッチと音楽を持った奏者で、輪郭のはっきりとした音色は良いのだが、この課題曲マリーアの表現としては、ややきつい感じに聞こえてしまっていた。中間から最後の部分にかけても、やや荒れた感じに聞こえてしまって、タルレガの曲の演奏に望まれるようなロマン的な表現とは距離感があるようにも感じられた。自由曲では充分な音量で骨太にギターを歌わせてはいるが、ガヴョットではテンポがやや重く、ジークも流麗というところまでは

至らなかった。やや粗削りながら演奏力の素質には十分なものを持っていると思われるので、より掘り下げた表現、音楽の内面に入っていきような研究を進めていってもらいたい。

4.井上和也(いのうえ かずや) <入選>

予選自由曲:前奏曲ホ長調(M.M.ボンセ)

本選自由曲:アッシャー・ワルツ(N.コシュキン)

しっかりしたリズム感と輪郭のはっきりした音色と音量など、技量の高さを伺い知ることの出来る奏者ではあるが、正攻法で真正面から押し切るような演奏に徹してしまうため、全体を通して聞くと、やや単調に聞こえてしまう傾向にある。課題曲マリーアは、速めなテンポで始められたが、中間部でキズを作ってしまったのは痛かった。自由曲では繊細な音色で翳りを表現するところもあるはずだが、明快さを目指す演奏の方向性が全体を支配していて、この曲の神髄に迫るまでには至らなかった。特殊奏法もしっかりこなしてはいるのだが、ノーマルな奏法の部分が今一つ単調な表現になってしまっているせいか、効果が上がっていないように感じられた。

5.大沢美月(おおさわ みづき) <入賞・合格>

予選自由曲:前奏曲ホ長調(M.M.ボンセ)

本選自由曲:椿姫の主題による幻想曲(J.アルカス~F.タルレガ編)

美しい音色と確実なテクニックを身に着けた奏者で、今回のオーディションでは抜群の技量を示していた。課題曲は快速なテンポで始めて聴衆を魅了していたが、マリーアの副題の「ガヴォット」という意味でのテンポ設定は正しかったかどうか再度考察してもらいたいような気もする。自由曲では各部分が良く考え抜かれて、伸縮の効いた歌いまわし、音色の使い分けなど、聴衆を楽しませる要素も充分でテクニックも良くそれを支えている。曲の最後も十分に盛り上げ、演奏者としての素質が充分なものであることを示していた。一つだけ苦言を呈するとすれば、それは前の世代の巨匠のスタイルが彼女の演奏の感性に大きく影響し過ぎているのでは、ということである。杞憂であることを祈りたい。

6.中野木介(なかの もくすけ) <入賞・合格>

予選自由曲:「BWV997」よりジーク(J.S.バッハ)

本選自由曲:サウダージ第3番(R.ディアンス)

課題曲マリーアは正統的で適切なテンポで奏されていた。テクニック的に難しいところで少しテンポが落ちてしまったり、少しビリつきが目立ったところがあって残念だったが、まずは無難にまとめた好演だったと言えるだろう。自由曲は良く弾き込まれていて、全体のテクニック、音色感、指さばきも丁寧さが感じられて非常に好感が持てる。各所に現れる特殊奏法も曲の内容から浮いてしまうことも無く、良く考えて奏されていた。更には、華やかな音色と、曲全体を楽々と奏し切ってしまうような技術の向上を目指してもらいたい。

入賞者インタビュー

(インタビュー:橋爪晋平)

中里一雄さん

-今の気持ちを教えてください。

「2006年から11回目の挑戦で、本選は6回目の挑戦で、やっと通して頂けました。ありがとうございます。自分にとってギター人生のひとつのなくてはならない目標だったのですが…来年からどうしようかなという…」

-審査員の中に中里さんの演奏が聞けなくなると寂しがっている方もいましたが。

「入賞最年長記録かな、と。63と半ですから、ひょっとしたら…」

-すごいいい音色で素晴らしかったです。

「お恥ずかしい。先生方の演奏からすると全然。」

-フェスティバルでの演奏楽しみにしています。

佐々木宣博さん

-演奏を終えて、入賞しての気持ちを教えてください。

「本選はすごく楽しく弾けて自分の持ち味が出せたのかな、と思っています。まだまだ改善したいとこ、たくさんあるので今後も研鑽していきたいと考えていますが…今日は兄の誕生日でもありまして。」

-お兄さんの？

「兄貴の良いプレゼントにもなったかなと思っています。」

-いつも八弦ギターを弾かれていますか？

「そうです。メインでは八弦ギターを使用していて、八弦ギターで魅力が出せるということで今回ハンガリー幻想曲を選んで演奏しました。今後も普通のレパートリー以上にあまり弾かれない多弦ギターの曲に取り組んでいきたいかな、と考えています。」

-いいですね、おもしろい。メルツは生き生きとした良い演奏でよかったです。

「楽しんで弾くしかないかなと。」

-ありがとうございます。

大沢美月さん

-今の気持ちを教えてください。

「はじめて、神奈川新人ギターオーディションに参加させて頂いてありがとうございます。まさか入賞できるとは思っていなかったのでもとても嬉しいです。これからもさらに成長できるように頑張っていきますのでご指導よろしくお願いいいたします。」

-好きな人はいますか？

「アルヴァロ・ピエリです。」

-なるほど。

「これは載せなくてもいいのですが、実は、一昨日階段から落ちて、いっぱいけがをして上手く弾けるかちょっと自信なかったんで。腕もあんまり上がらない状態だったんで。」

-大変でしたね、そんな結構派手に落ちた？

「そうですね、靴がバラツと壊れて階段から落ちて。」

-無事でよかったですね、お大事にしてください。

-今後の展望はありますか？

「これからコンクールも何個か出させていただくので、いい演奏ができるように頑張りたいと思います。」

-これから若いですし、いろいろ挑戦してください。

中野木介さん

-今の気持ちなど教えてください、このオーディションも何回か受けられていますか…。

「今回で4回目です。はじめて予選通過で入賞できました。とても嬉しいです。」

-素晴らしい。この気持ちを誰かに伝えたいとか？

「やっぱり、お世話になった先生と支えてくれた家族に伝えたいです。」

-本選の演奏していた時の気持ちを教えてください。

「本選で弾けたのはすごく嬉しかったです。めっちゃくちゃ緊張しました。」

-のびのびと自由曲は弾かれていましたが…

「課題曲が緊張していて吹っ切れたというか、なるようになれみたいな。」

-今後の展望を教えてください

「これを機にギターを弾く方も頑張っ…ちょっと他の仕事もしているんですけど、頑張っていきたいと思います」

-頑張ってください。来年のフェスティバル楽しみにしています。

本選採点表

氏名	川俣	西本	渋谷	石田	井上	斉藤	志田	高久	多治川	橋爪	堀井	前場	森	佐藤	合計	平均点	合否
中里一雄	78	81	78	81	79	82	82	86	82	82		79	82	78	1050	80.769	入賞
佐々木宣博	77	79	81	80	85	78	84	82	80	81	79	83	84		1053	81	入賞
斉藤奈々子	74	78	82	76	82	76	79	80	79	79		78	80	77	1020	78.461	次点
井上和也	75		76	78	74	75	77	81	77	77	78	81	81	79	1009	77.615	入選
大沢美月	87	86	84	86	88	85	88	87	83	83	84	84	85	85	1195	85.357	入賞
中野木介	82	80	80	79	81	80	80	85	78	80	77	80	79	80	1121	80.071	入賞

※空欄は師弟関係により点数をいれない。

●新入会のお知らせです。

中里一雄さん、佐々木宣博さん、中野木介さん、が入会されました。

●イベント報告

☆総会

2016年2月14日(日)、神奈川ギター協会の総会が横浜技能文化会館特別会議室で開かれました。



☆神奈川ギターフェスティバル 2016

2016年3月27日(日)神奈川ギターフェスティバル 2016 が横浜・関内小ホールで開催されました。今年のフェスティバルも神奈川のギター愛好家や協会会員の演奏、前年のオーディション合格者のお披露目演奏などヴァリエティに富んだ内容で、大いに盛り上がりました。

●委員会から

◇2017年第46回神奈川新人ギターオーディション課題曲が決定しました。

[予選] エチュードニ短調 (N. コスト)

[本選] アラビア風奇想曲 (F. タレガ)

●暑気払いのお知らせ

毎年恒例の暑気払いを8月31日(水)17時より行います。出席希望の方は委員長または副委員長までご連絡ください。

●コンサート案内をリアルタイムで紹介しています。神奈川ギター協会のホームページを訪れて下さい。→<http://kanagawaguitar.sakura.ne.jp/> またはパソコンをお持ちのお弟子さん、御友人にお尋ね下さい。ホームページへのコンサート案内掲載は森淳一委員に電子メールで御知らせ下さい。尚、掲載は会員関係に限ります。

編集後記:

今回から担当が橋爪委員から私、岩木に変わりました。みなさまに楽しく読んで頂けるよう頑張ります!!
(岩木)